

カリキュラム・マネジメント研究指定校 水俣第一小学校

研究主題

「一小の学び」の実現を目指す地域社会に開かれた教育課程の創造
～改善・充実の好循環を生み出すカリキュラム・マネジメント研究を通して～

研究主題設定の理由・意図

- ・本校の学力に係る諸調査等の結果から、期待する確かな学力の定着に至っていないため、課題解決に向けて全職員による組織的な取組を展開する必要がある。
- ・学習指導要領等に基づいて教育課程を編成・実施・評価・改善し、教育活動の質の向上を図り、学校総体としてのカリキュラム・マネジメントの在り方を改善させたい。

研究の仮説

児童へ身に付けさせたい資質・能力を育成するため、課題解決や改善の方策等を家庭・地域と共有しながら取り組むとともに、国語科を軸とした教科等横断的な取組の在り方を明確にして実践していくことで、改善と充実の好循環を生み出し、「一小の学び」を実現することができるであろう。

カリキュラム・マネジメント研究からのアプローチ

研究基盤

- ・課題分析の方法、課題設定の在り方
- ・組織的・意図的・計画的推進を図る組織体制の在り方
- ・付けさせたい力・解決すべき課題に関する外部人材の確保や、家庭地域との共有の在り方 等

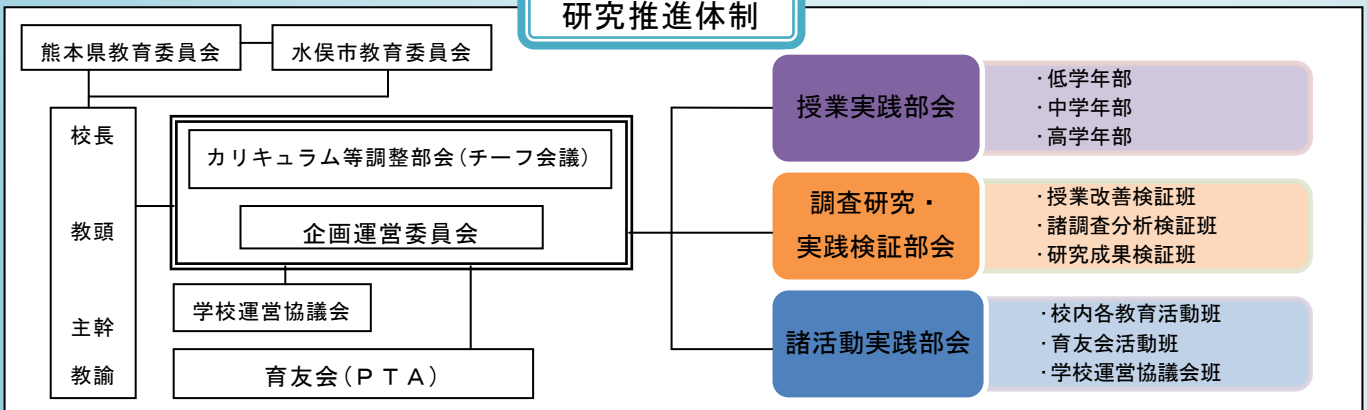
教科等の内容

「身に付けさせたい力（資質・能力）」を育成する言語活動の充実と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を目指す国語科を軸とした、教科等横断的な取組の在り方

教育活動全体

本校の学力充実に係る全般的な教育活動について「授業スタイル」「家庭学習の指導」「学力調査の活用」等、課題設定と改善方策の全般的な見直し

研究推進体制



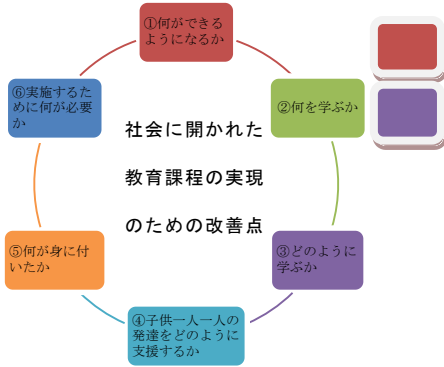
「一小の学び」の実現を目指して

カリキュラム・マネジメント三つの側面

・児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容を教科等横断的な視点で組み立てていくこと

・教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと

・教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと



①何ができるようになるか (身に付けさせたい資質・能力)

- ・全学調、県学調、標準学力検査結果を基に課題とその要因を分析し、身に付けさせたい資質・能力を設定

②何を学ぶか (教科等間のつながり)

- ・各教科等の年間指導計画を基に、国語科を軸として教科等横断的な視点で教育内容を洗い出し、つながりのある教科を検討

③どのように学ぶか (指導計画の作成と実施、授業改善)

- ・国語科を軸とした教科等横断的な学習年間計画の作成と実施

④子供一人一人の発達をどのように支援するか

- ・校内統一したUDによる前面掲示等
- ・外部人材の活用

⑤何が身についたか (結果分析・評価)

- ・全学調、県学調の結果分析
- ・学校評価の活用

⑥実施するために何が 必要か(人材等の活用)

- ・PTA、学校応援団の協力
- ・外部人材の活用

学校教育目標

夢を持って主体的に学ぶ、心豊かでたくましい児童の育成

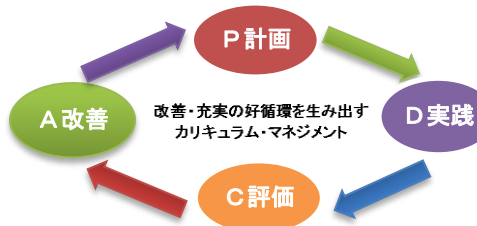
①身に付けさせたい資質・能力「めざす児童像」

国語科を軸とした教科等横断的な学習により、「学習の基盤となる資質・能力」の一つである言語能力を構成する資質・能力の育成を目指す。

	低学年	中学年	高学年
(1)知識及び技能	読み書きの基本的な力 語彙力	新たな知識へ適応する力 語彙力	学習内容に適応する力 語彙力
(2)思考力・判断力・表現力等	話す聞く力 想像する力	既習知識を活用する力 読み取る力	話す聞く力 考えを形成し深める力
(3)学びに向かう力・人間性等	自力解決しようとする力	自力解決する力	自ら学ぼうとする力 読書する力

⑤結果分析・評価

調査研究・実践検証部会を中心に、質問紙の作成・実施、調査結果の分析等を行う。



⑥人材等の活用

諸活動実践部会を中心に、PTAや学校応援団等をいかけた教育活動を検討する。

③国語科を軸とした教科等横断的な取組による授業づくり

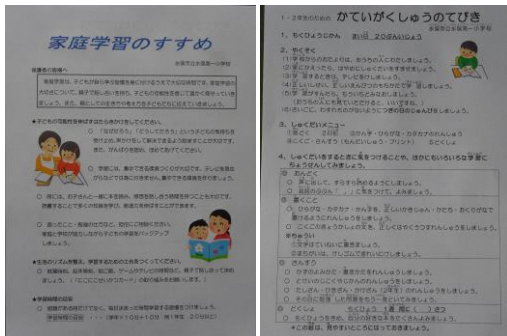
授業実践部会を中心に、国語科を軸とした教科等横断的な学習年間計画の作成、及び研究授業による検証を行い、授業改善を図る。

諸活動実践部

校内各教育活動班

①家庭学習のすすめ、手引きの保護者配付

低・中・高学年でそれぞれの発達に応じた学習時間や内容を示し、家庭学習をする上での参考となるように作成した。全家庭、全児童に配付し、いつでも確認できる場所に貼ってもらおうようお願いしている。



②詩の朗読

毎週金曜日の朝の会に、各学級で詩の音読をしている。各学年に応じて、リズムのある詩や言葉遊びのような詩を選び、楽しく取り組めるようにしている。



育友会活動班

①国語教科書との関連付け

国語教科書の巻末に掲載の「この本、読もう」のページを、読み聞かせボランティア「おはなしレンジャー」の選書に活用してもらっている。これは各学級の廊下や図書室前にも掲示し、児童に読書を促している。



②学習支援ボランティア

週に1回、放課後30分間、1、2年生の保護者に九九や音読の聞き取りなどの学習支援をお願いする。

合格したら、シールを貼って、励ましや賞賛の言葉かけをしてもらう。

1年生	水曜日	音読、ひらがな、暗算など
2年生	火曜日	音読、九九、暗算など

学校運営協議会班



学校運営協議会は、地域社会に開かれた学校づくりの上で、中核となるものである。学校運営協議会で本校の課題を協議した結果、パソコンソフト「eライブラリ」を使ったドリル学習の実施が計画された。「学習に対して受け身にならず、自ら働きかけて意欲的に学習する楽しさを知ってほしい。」という地域の方の思いを受け、パソコンを使用した学習に取り組んだ。現在、部活動開始までの30分ほどを活かして、パソコン室に駆け付けた児童から順に学習を進めている。先々は、運営を地域のボランティアの方をお願いするなどし、更に課題意識の共有と実践の深化を図っていく。

授業実践部の取組

1 主体的な学びにつながる課題設定と分かりやすい授業

「身に付けさせたい資質・能力」と本時の学習内容との関連付けを図り、授業を充実させるために、「水俣第一小学校授業づくり」を作成した。「めあて」を「何をどのようにするには」という形で設定し、「まとめ」を「どうすればよい」とすることで、何を学ぶかを明確にしている。また、単元の最終的な目標やゴールを学習計画表等で児童に示すことで、学習の見通しをもたせ、主体的に学べるようにしている。

過程	実践事項
導入	<p>【めあて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項の復習や本時の学習内容に興味を持たせる学習活動 児童に課題意識を持たせる活動 <p>○めあてを設定し、板書しましょう。</p> <p>(めあての例) 国語：宮沢賢治の人生において、「かわせみ」、「やまなし」、「かにかの兄弟」が興しているものを考えよう。 算数：この長さや角度を測れば、合同な三角形がかけられるだろうか。</p>
展開	<p>【自力解決や共同解決等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 習得したものを活用し、思考力、判断力、表現力を育成するための「学び合い」を行う。 ① 自らの考えを理由をつけて発表する。 ② 友だちの考えと比較し、多様な考えに気づく。 ③ 視点に沿って繰り返す。 【繰り返しの例のイメージ】 <p>ア 自らの考えを、さらに深める。 B 友だちの考えを、さらに深める。 C 友だちの考えを、さらに深める。 D 友だちの考えを、さらに深める。</p> <p>・自力解決したことをもとにした、共同解決する過程や形態等(ペア、グループ、同意同士、異意同士)を工夫する。</p>
整理	<p>【まとめ】</p> <p>○めあてと整合したまとめを行い、板書しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめに入る際、めあてにもどって考えさせる。 終了より分岐程度をゆずり、まとめに入る。 子供たちと本時の学びを確認しながら、教師がまとめる。 <p>【振り返り】</p> <p>○本時に学習したことを振り返らせ、習熟を図りましょう。</p> <p>※教科や単元内容に応じて次のような振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 板書やノートを見て次の点を振り返らせる。 「何を学んだか」、「何ができたようになったか」 自分の調べ方や学び方、結果を振り返る。 学習問題等を解か、身に付けたい内容を確認する。 知識及び技能の習得を図る場を確実に確保する。 <p>○「振り返り」の臨時的な指導(習得内容の確認)</p> <p>ステップ1：教師とともに、本時や単元の習得内容を振り返る。 ステップ2：児童のみで、本時や単元の習得内容を振り返る。 ステップ3：児童が習得内容を振り返り、事後に生かそうとする。</p>
【評価】	○本時の目標に整合した評価を、1～2個に焦点化して行いましょう。

2 考えが深まる話し合い活動

「じっくり考え」「はっきり表現」させる場を確保する。自力解決や共同解決の場面では、話し合う視点が明確になるような発問や形態等の工夫(ペア、グループ、同意同士、異意同士)を行う。すべての児童が自分の考えをもとにして活動できるような支援を行う。

3 他教科との横断的な学習による充実した授業

授業実践を進めるにあたって、国語科と他の教科等がどのように関連するのかを明確にするために、以下の視点に基づき、「国語科を軸とした教科等横断的な学習年間計画」を作成した。

- ① 国語科で身に付けた学習内容や経験が、他の教科等の学習にどのようにつながるのか
- ② 他教科・領域における学習内容や経験が、どのように国語科の学習につながるのか

この計画を基に授業を実践する際には、本校で設定した「身に付けさせたい資質・能力」が、その単元でどのように定義されるのかを明確にして、授業を展開できるようにした。

国語科を軸とした教科等横断的な学習年間計画(3年)

月	単元名【題材名】 ◎目標・内容	学習内容 *どんな力	必要な人・物	月	教科 ○内容	必要な人・物
6月	ざいりょうを集めて、ほうこくする文章を書こう 【気になる記号】 ◎報告するために必要な事柄を調べ、記録した情報を整理・分類したうえで、報告する文章の構成に沿って文章を書くことができる。 ・知(2)イ ・書(1)ア・イ ◎書いた文章を読み合い、意見や感想を伝え合ったり、自分の文章のよいところを見つけたりすることができる。 ・書(1)オ ○適切に句読点を打ったり、段落に分けたりして書くことができる。 ・知(1)ウ	記号について調べ、報告する文章を書く。 *「問い」を決め、追究する「方法」を考え、実際に「調べて」(取材)、分かったことを書くという、調査報告文を書くための一連の力を養う。	図書司書 記号が載っている本や図鑑	6月 ～ 2月 4月 ～ 12月 6月	総合的な学習の時間「やはず体夢」 ○水俣自まん発見 水俣のことで自まんしたいことを見つけ、調べ、まとめ、発表する。 ○大豆調査たい 大豆について調べ、まとめ、発表する。 社会 ○市のようす	図書司書 大豆に関する本 大豆の種植えに協力してもらう地域の方 水俣市の資料
7月	「ありがとう」をつたえよう ◎目的や必要に応じて、気持ちが伝わるように書き方を工夫した手紙を書くことができる。 ・知(1)ア ・書(1)ウ ◎相手や目的に応じ、敬体と常体を使い分けて書くことができる。 ・知(1)キ	用件や気持ちが伝わるように手紙を書く。 *気持ちが伝わる時と場に応じた適切な手紙を書く力を養う。		11月	○総合的な学習の時間「やはず体夢」 今までお世話になった方へお礼の手紙を書く。 ○社会「店ではたらく人」 スーパーマーケット見学でお世話になった方へお礼の手紙を書く。	大豆の種植えに協力してもらった地域の方 店で働いている方

授業実践 2年

単元名 わかりやすくせつめいしよう「しかけカードの作り方」「おもちゃの作り方」(国語科)

本単元で身に付けさせたい資質・能力

題材とのつながり

身に付けさせたい資質・能力	本単元において付けさせたい力
(1) 読み書きの基本的な力	既習したことを生かして、読んでいる人にとってわかりやすい文章を書こうとする力
(2) 話す聞く力	自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを受け止めたりする力
(3) 自力解決しようとする力	どのように書いたらわかりやすいのか考え、それを探究しようとする力

教科等横断的な学習における取組 児童が生活科で実際に作ったものを題材にして、説明文を書く活動を行った。

単元を通しての学習のゴール(児童の活動目標)を、「年長さんにわかりやすいおもちゃの説明書を書こう!」と設定した。どのように書いたら幼稚園や保育園等の年長さんにわかりやすいのかという視点で、説明書を見直したり、お互いに読み合ったりする学習を行うことで、自力解決しようとする力も高めることをねらった。

国語科			生活科		
単元名	時	学習内容	月	時	学習内容
「しかけカードの作り方」	1	学習課題を設定し、学習の見通しを持つ。	6	12	単元名『つくろう あそぼう くふうしよう』 1 課題を設定する。 2 身近にあるものからどんなあそびができるか考える。 3 おもちゃをつくる。 4 みんなであそぶ。 ----- 5 試しにおもちゃをつくる。 6 年長さんに説明する絵をかく。 7 年長さんといっしょにおもちゃをつくってあそぶ。
	2	写真を見て、作り方の順序を考える。			
	3	〈作り方〉を読みながら、しかけカードを作る。			
	4	どんな言葉や表現が説明をわかりやすくしているのかを考える。			
	5	教材文の〈作り方〉のわかりやすい説明のしかたを整理する。			
	6	わかりやすい説明のしかたを見つけ、まとめる。			
「おもちゃの作り方」	1	「おもちゃの作り方」の説明文を書くまでの見通しを持つ。	7		
	2	「おもちゃの作り方」の説明書のわかりやすい書き方を理解する。	10		
	3	わかりやすい説明の仕方を生かしながら、説明する文を書く。	11		
	4	説明書を書く。			
	5	自分で書いたおもちゃの作り方を読みなおす。			
	6	説明書を読み合い、感想を伝え合う。			

実際におもちゃを作った経験から、見通しを持って説明書を書く活動に取り組むことができた。

年長さんにわかりやすい説明書を書いたことで、生活科のあそび活動がスムーズにできた。



考察

分かりやすい説明の仕方を「大事ポイント」として示すことにより、既習事項を取り入れながら文章を書こうとする姿が見られた。説明文を友達同士で読み合い、自分の書いた文章が相手に伝わるかを確認する学び合う活動を取り入れたことで、より分かりやすい説明文にすることができた。また、「年長さんに説明する」という目的意識があったために、児童は自力解決しようとする意欲を持って学習に取り組むことができた。

授業実践 3年

単元名 れいをあげてせつめいしよう「食べ物のひみつを教えます」（国語科）

本単元で身に付けさせたい資質・能力

題材・調べ学習とのつながり

身に付けさせたい資質・能力	本単元において身に付けさせたい力
(1) 新たな知識へ適応する力 語彙力	本から得た新たな情報をまとめ、文章を書こうとする力
(2) 既習知識を活用する力 読み取る力	文章の構成や、内容を分かりやすく伝えるための説明の工夫の仕方を考えて文章を書く力
(3) 自力解決する力	調べ学習をし、説明するための必要な情報を得ようとする力

教科等横断的な学習における取組

総合的な学習の時間では大豆の基本的な知識を得るために「種類」や「育て方」、「大豆を使った調理」について調べ学習を行った。さらに国語科では食べ物が「どのようにくふう」をして「何に変化」するのかについて、必要な言葉を本から探し説明文を書いた。このように調べ学習を繰り返すことで、自力解決する力を高めることをねらった。

国語科			総合的な学習の時間		
単元名	時	学習内容	月	時	学習内容
話し合おう せつめいのくふうについて	1	学習の見通しをもつ。 構成に着目して、教材文を読む。	6	25	単元名『大豆調査隊』 1 大豆について調べよう。
	2	「初め」の部分に問いを入れたら、どんな「問い」になるかを考えて、ノートに書く。	7		2 大豆の種を植えよう。
	3	段落の順序や中心になる文を確かめる。			3 調べたことを発表しよう。
	4	筆者の説明の工夫をまとめる。	9		4 どれくらい大きくなったかな。
	5	食べ物について書かれた本を読む。			5 みんなで収穫しよう。
	6	グループで読んだ本について話し合う。	11		6 大豆を調理して食べよう。
しょう れいをあげてせつめい	1	学習の見通しを持つ。	12		7 大豆づくりのまとめをしよう。
	2・3	食材を決め、調べる。			
	4	文章の構成を考える。			
	5・6	説明する文章を書く。			
	7	書いた文章をグループで読み合う。			
	8	学習を振り返る。			

大豆を育てたり調べたりしたこと国語科の教材内容理解の手助けとなった。

大豆の調べ学習をした経験から必要な語句を見つけ出し付箋を付けて自力でまとめようとする意欲が出た。

考察

総合的な学習の時間で大豆について調べ学習をし、まとめたり発表したりした経験から国語科で調べる際、どのような本で調べればよいのかを自分で選び、調べようとする意欲がみられた。また、本から得た情報のどの部分を選び、どのように書けばよいのか、国語科だけでなく、理科でも調べ学習を繰り返し行ったことで、少しずつ自分で調べてまとめることができるようになってきた。分かりやすくまとめるためには難しい言葉は使わないようにしたり、言い換えたりすることが必要であるが、工夫して書くことはまだ難しく、今後も繰り返し取り組んでいく必要がある。

授業実践 4年

単元名 説明の仕方を工夫して、分かりやすく伝える文章を書こう
「クラブ活動リーフレット」を作ろう（国語科）

本単元で身に付けさせたい資質・能力

題材・調べ学習とのつながり

身に付けさせたい資質・能力	本単元において付けさせたい力
(1) 新たな知識へ適応する力 語彙力	3年生に分かりやすく伝わるような文章にするため、言葉遣いに注意して書く力
(2) 既習知識を活用する力 読み取る力	既習内容を生かしながら、説明の工夫の仕方を考えて、内容がわかりやすく伝わる文章を書く力
(3) 自力解決する力	どのように書いたら分かりやすく説明することができるのか考え、それを探求しようとする力

教科等横断的な学習における取組

国語科では、単元を通しての学習のゴール（児童の活動目標）を「クラブ活動リーフレットを作り、3年生にクラブ活動の楽しさを伝えよう」と設定し、分かりやすく伝わる文章を書く力を付けていった。さらに総合的な学習の時間でも、国語科で身に付けた知識を活用する力を高めることをねらい、水俣川学習のゴールを「水俣川学習で学んだことをリーフレットにまとめ、地域の人々に伝えよう」として取り組んだ。

国語科			総合的な学習の時間		
単元名	時	学習内容	月	時	学習内容
「クラブ活動リーフレット」を作ろう	1	学習課題を設定し、学習の見通しを持つ。	9 5 11	23	単元名『水俣川学習』
	2	説明する内容を決める。		1	課題を設定する。
	3			2	水俣川にいる水生昆虫で水の状態を知ろう。 お礼状を書こう。
	4	文章の組み立てを考える。		3	川のひみつをもっと知ろう。
	5	どのようにまとめればよいか考える。 目的に応じて使用する写真を選ぶ。		4	水俣川と人々の暮らしについて調べよう。
	6	写真と文章を対応させて、リーフレットを完成させる。		5	調べたことをまとめよう。
	7			6	水俣川学習リーフレットを作ろう。
	8	リーフレットを紹介し合う。			

国語科で学んだリーフレット作りを生かしたことで、「水俣川学習リーフレット」作りがスムーズにできた。

考察

国語科、総合的な学習の時間と共に、相手意識を明確に持たせることで、相手に合った言葉遣いを意識して書くことができた。また、学習の目的も明確となり、学習の意欲を高めることにつながった。総合的な学習の時間に、国語で学習した内容を振り返りながら学習を進めたことで、既習知識を活用しながら、スムーズに文章を書くことができた。文章を書く際、まずは自分で内容を考え、その後、お互いにアドバイスを行い、再度自分で文章を練り直すという時間を設定したことで、より分かりやすく伝わる文章を書くためにはどうすればよいか考えることができた。

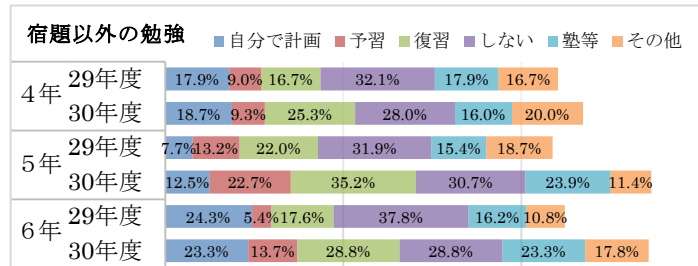
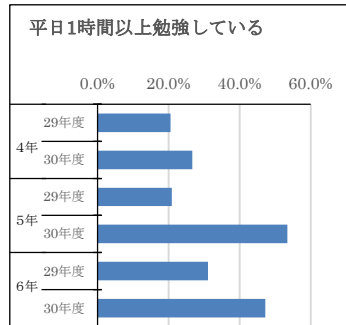
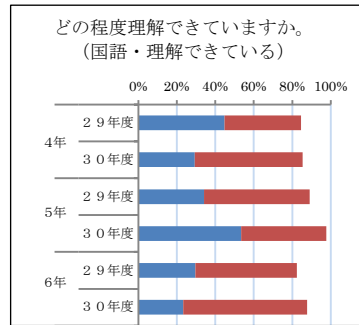
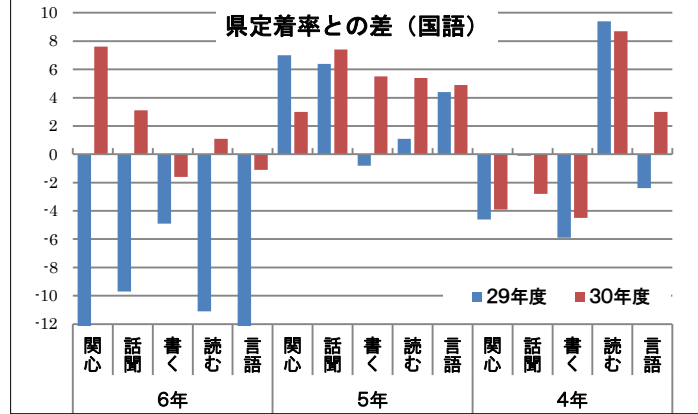
調査研究・実践検証部

諸調査分析検証班の取組

諸調査分析検証班では、全国学力・学習状況調査、標準学力検査、県学力調査の結果を分析し、児童の実態把握を行った。

平成30年度

総合(%) | 6年自校 81.3 県 80.2 5年自校 76.3 県 71.1 4年自校 76.9 県 75.8



授業改善検証班の取組

話し合いのしかた

わたし(ぼく)は、○○○だと思います。(どうしてかというと)○○○からです。

- ・分かりました。
- ・～がよく分らなかったなので、～。
- ・同じです。にっています。
- ・〇さんとちがって…
- ・〇さんにつけくわえます。
- ・〇さんにしつもんがあります。

学力テスト等の結果分析から、「話すこと・聞くこと」に課題が見られたため「話し合いの仕方」「言語わざ」を各教室

に掲示し、活用を図っている。

また、自力解決を促すような「発問の工夫」についても取り組んでいる。

成果と課題

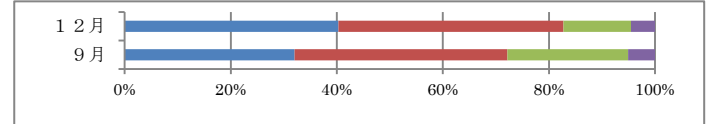
研究成果検証班の取組

「めざす児童像」に合わせて、2つの調査を行い児童の実態と研究の成果を検証している。

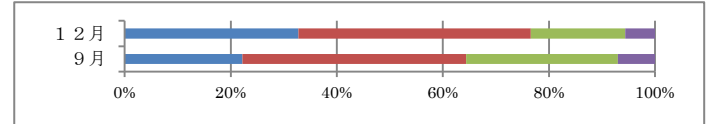
I 学びのアンケート

■あてはまる ■どちらかといえばあてはまる ■どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

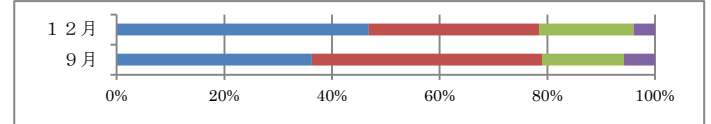
①自分の意見や考えを友達に伝えることができる。



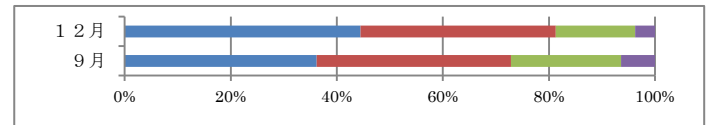
②自分の考えを相手に伝わるように、話の組み立てを工夫することができる。



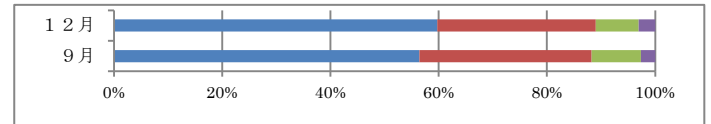
③自分が考えたことや伝えたいことを文章に書くことができる。



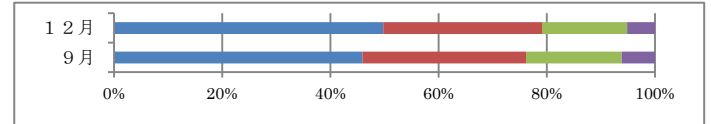
④友達と話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。



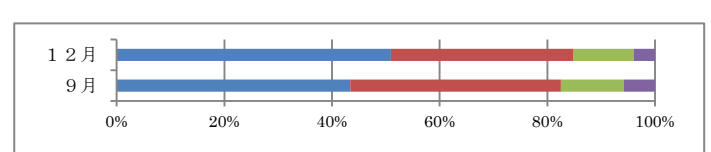
⑤最後まであきらめずに問題に取り組むことができる。



⑥自分の力でじっくりと考えて問題を解くことが楽しいと思う。



⑦勉強で分からない時、先生や友達に聞いたり、調べたり、努力している。



II 学びの約束

学習委員会 学習のやくそくチェック		年 組 番 名前	
「学習のやくそく」が守れたかチェックしましょう。(毎月実施)	できたこと	できなかったこと	11月
よくできたこと	できたこと	できなかったこと	
学習のやくそく	1月	2月	3月
聞くとき			
話すとき			
書くとき			
感想			

学習委員会を中心に学びの約束についてのアンケートを毎月行い児童自身が意識できるようにした。

今年度の県学力調査の結果を県の定着率と比較すると、国語科において大きな改善が見られた。質問紙の結果や学びのアンケートからは、児童の学習意欲の高まりや、自分の考えを伝えたり、話し合い活動によって考えを深めたりすることに対する児童の意識の高まりが見られた。これらの結果や学校評価の結果分析を行うことで、児童に身に付けさせたい資質・能力が身に付いているか検証を行い、取組の改善・充実の好循環につなげるカリキュラム・マネジメントを推進していく。